

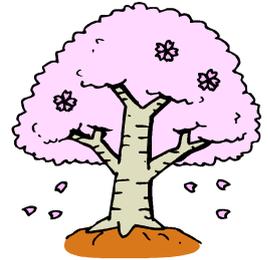
センターだより

第10号

平成26(2014)年 3月 17日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

平成25年度 一年間の業務を振り返って



本年度、教育センターの所員が創意を集め、学校現場のニーズに対応した教職員研修講座を企画・実施してまいりました。教職員の皆さんにとっていかがだったでしょうか。皆さんのご理解・ご協力により一年間の業務を終えることができますこと、紙面をお借りして感謝申し上げます。

日一日と温かさが増し、校庭の木々の芽も膨らみ春の訪れを感じられるこの季節には、様々な出会いや別れがあります。立派に成長し学校園を巣立っていく子どもたち、ご卒園・ご卒業おめでとうございます。また、これまで教育現場を支えてこられた多くの先生方が退職されること、誠に寂しい限りです。新年度には、多くの新規採用者をお迎えすることになります。本市が培ってきた教育を大切にしながら、子どもたちがしっかりと将来を見つめ21世紀を生き抜く力を育み、自立して力強く生きる人づくりや自律して社会を支える人づくりが学校に求められています。人づくりに、とりわけ重要な役割を担うのが教職員の皆様です。本センターでは、多くの先生方が退職される時代だからこそ、次世代の人材育成をめざしたキャリアステージに応じた研修や専門性を高める研修を実施してまいりました。また、各学校の課題に応じた校内研修の重要性が高まっていることから、校内授業研究活性のための中学校パッケージ研修を実施してまいりました。これらの研修を通じて多くの先生方が研鑽を深め校内で共有を図るなど、計画的・組織的な取組が進められていると実感しています。

以下に本年度の事業報告を掲載いたします。次年度以降も、現場の先生方が「参加してよかった。」と実感していただける研修・研究を企画してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

吹田市立教育センター
所長 笠井 一司

平成25年度 事業報告

1 教職員研修

(1) 市教育センター研修・・・・・・・・・・ 199講座

参加者 延べ5,609人 (3/5現在)

<一般研修講座> 169講座 参加者 延べ5,259人

ア 管理職研修(22講座)

・校長、教頭、新任校長、新任教頭

イ ライフステージに合った研修講座(79講座)

・初任者、新転任者、フレッシュ(新規採用養護教諭・事務職員・幼稚園教諭、新規任用講師)

・ステップアップ、ヤングリーダー、10年経験者、スクールリーダー(首席・指導教諭・主幹・主査・副主査)

ウ 教育課題別研修講座(15講座)

・教育課程、人権教育、生徒指導、教育相談、応急手当、国際理解、歴史探訪等

エ 教科・領域別研修講座(25講座)

・授業づくり(理科実験・観察、ICT活用、スーパーティーチャーに学ぶ等)

・小学校英語活動(基礎研修、授業研修、夏季集中)

オ 幼稚園教育研修講座(1講座)

カ 専門職等研修講座(11講座)

・学校事務職員、栄養教諭、養護教諭、学校図書館担当者

キ 特別支援教育研修(16講座)

・特別支援教育コーディネーター（ベーシック・アドバンス）、事例検討、支援学級合同研修
ク さつきら・るーむ（初任者教員等相談室）（延べ21件）

・研究授業等に向けての相談、代表研究授業に向けての相談、初任者等への訪問指導

<情報教育研修講座> 30講座 参加者 延べ 350人

ア システム管理 イ 情報セキュリティ ウ 情報モラル エ 校内LAN・ICT機器活用

オ ホームページ・ブログの作成・活用 カ 各種ソフト活用 キ 栄養教諭・学校図書館担当者・校務員研修

(2) 校内研修支援

ア 校内研修講師謝金 イ 研修・大会参加負担金 ウ 校内研修会指導助言

エ 中学校パッケージ研修支援（第六中学校 豊津西中学校）

2 調査・研究

(1) 研究グループ活動

ア 理科教育 イ 発達理解 ウ 道徳教育 エ 英語教育 オ 食育 カ 学校組織マネジメント

(2) 研究学校委嘱

ア 道徳教育・・・西山田小、山田中 イ 言語活動・・・千里新田小、佐井寺小、片山小

ウ 使える英語プロジェクト・・・千里みらい夢学園 竹見台中学校ブロック

(3) 教育研究団体への支援

ア 吹田市小・中学校教育研究会 講師謝金 イ 大阪府小・中学校教育研究会 補助金 ウ 各研究協議会 分担金

3 教育資料の収集・発信

(1) 教育情報の収集・発信

ア センターだより（各月・特別号）・紀要108号（年度末に電子版で発行）、所報84号（年度末に発行）
要覧NO.20（毎年発行）

イ 教育資料等の充実・活用、検索システムの改善 ③ 情報教育用コンテンツの充実（ホームページの利用）

4 教育研究大会・教育研究報告会

ア 教育研究大会 1, 498人の教職員が参加

教育研究大会として全体講演会を8月27日（火）に実施

イ 教育研究報告会 253人の教職員が参加

教育センター行事として1月29日（水）午後を実施。研究委嘱校、学研、研究グループ等の14団体が発表

イ 教育研究報告会・保護者啓発講演会 1月29日（水）午前に講演会を実施。保護者等127人が参加

5 教育相談

(1) 電話・来所相談 情緒・行動、学習・発達、不登校に関する相談に対応

(2) 出張教育相談 全小学校に教育相談員またはSCを派遣し、子どもや保護者、教職員のニーズに対応

(3) いじめのなやみ相談（専用ダイヤル）

(4) スクール・セクシャル・ハラスメント相談

6 適応指導教室

(1) 不登校児童・生徒支援事業 学校復帰を目標にした「光の森」活動、「学びの森」活動、「家庭訪問活動」
の実施

7 特別支援教育

(1) 巡回相談 幼稚園、小学校、中学校への巡回発達相談の実施

(2) 教職員の指導力育成 特別支援教育研修（※教職員研修欄参照）特別支援教育コーディネータ研修、事例検討研
修、支援学級研修の実施

(3) 保護者支援 保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

8 進路選択支援

(1) 進路選択支援相談 奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談、および保護者等の支援

9 情報教育

(1) 情報教育機器等の整備

ア 教育用PC等の機器保守、校内LANの整備・活用

(2) SATSUKIネットの普及・運用

ア 学校園ホームページの管理・更新 イ 教職員へのID、メールアドレスの配付による運用

ウ 「校務なび」による学校間連絡体制 エ サーバセンターを中心としたセキュリティ確保の一元化 等

(3) 情報教育推進支援

ア 情報教育推進委員会（5回開催） イ 情報教育研修の実施（※教職員研修欄参照）

10 学校支援

(1) 学校等支援者ボランティアネットワーク 登録者数（1/31現在）：1, 133名

ア エス・ネット イ スクール・ボランティア ウ 学校インターンシップ

教職員研修

平成25年度は、グローバル教育や幼小中一貫教育など吹田市の重点施策や次世代リーダー育成・授業づくり研修などに重点をおき、合計199の研修講座を実施し、のべ5,609人の参加がありました。研修アンケートについては、今年度は80講座で実施し回収率も84%でした。多くの方々からのご意見・ご感想ありがとうございました。

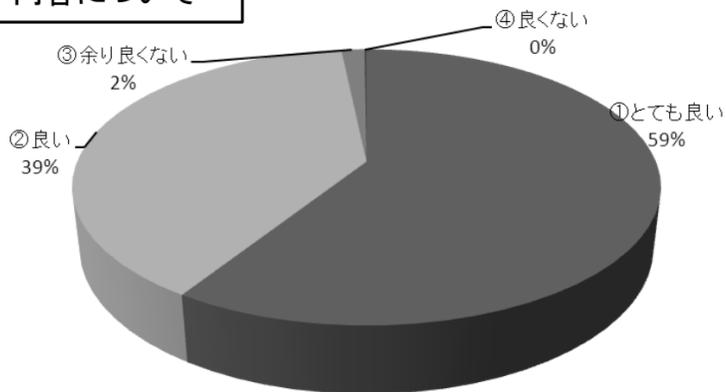
■ 平成25年度研修講座と参加者数(3月1日現在) 全講座数 199 講座 参加者数のべ 5,609 人

講座名	講座数		受講者数		講座名	講座数		受講者数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度		今年度	昨年度	今年度	昨年度
管理職研修	23	22	1002	1023	教育課題別研修	15	11	362	477
スクールリーダー研修	6	5	178	137	英語教育研修※	8	9	268	275
10年経験者研修 ※選択研修は教育課題別研修に含む	2	2	80	49	授業づくり研修	15	19	587	505
ヤングリーダー研修	7	6	62	96	特別支援教育研修	16	18	908	746
ステップアップ研修	20	21	753	685	幼稚園・小学校教育研修	1	1	—	34
初任者・フレッシュ研修※	44	50	890	919	情報教育研修	30	36	350	523
専門職研修※	11	11	169	153	講座全体	198	213	5609	5630

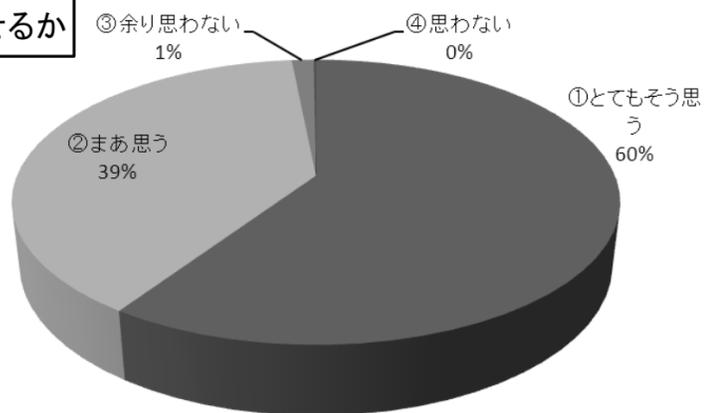
※印は最終結果ではありません。

■ 全体結果概要(計80講座 集計人数2924人 回収率84%)

内容について

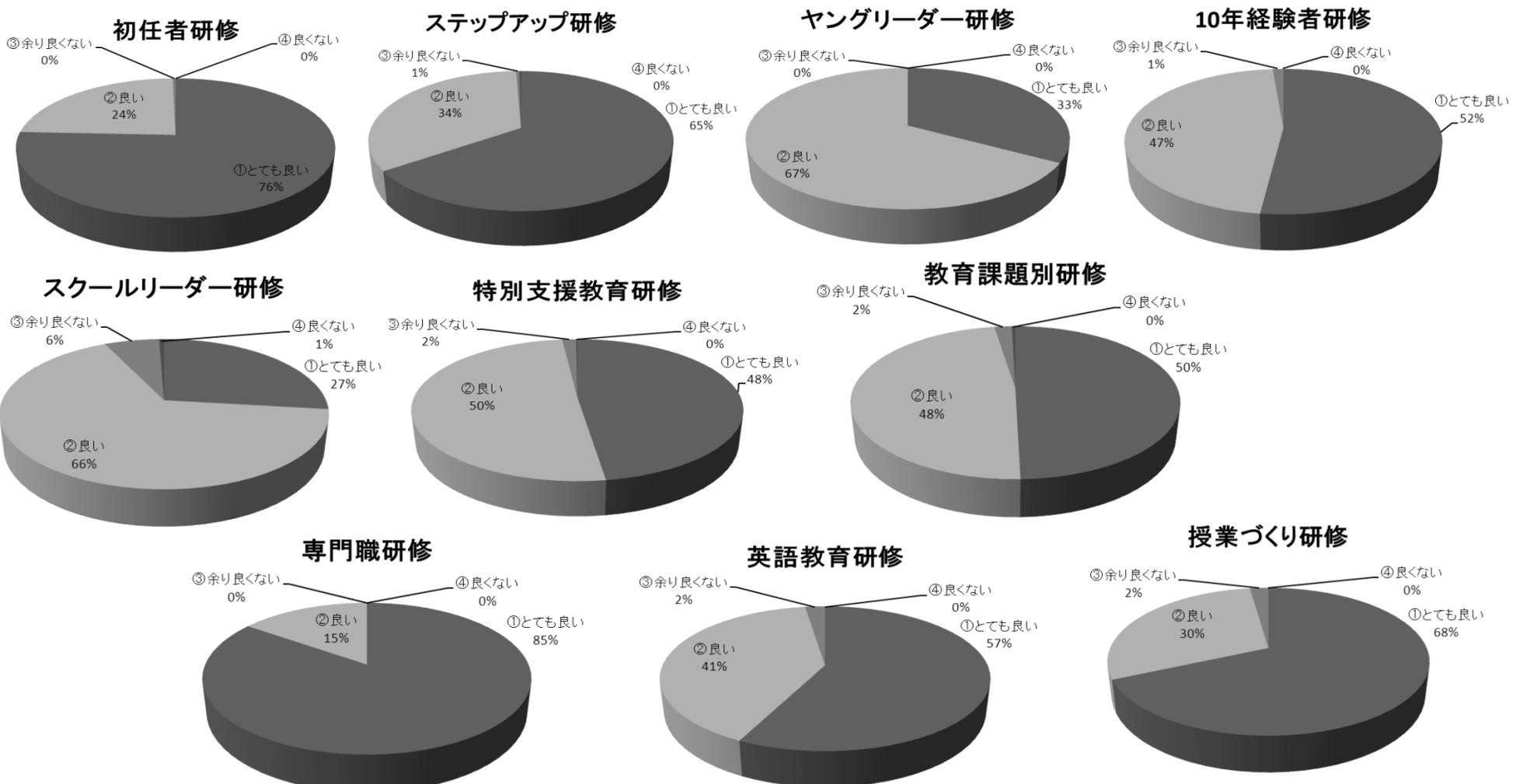


職務に生かせるか



研修内容については、98%の方から「良かった」、「今後の職務に生かせそうだ」と回答があり、昨年度同様の高い評価をいただきました。特に、初任者研修・ステップアップ研修・専門職研修・授業づくり研修では、60%以上の方から「とても良い」と評価をいただきました。「とても良い」の評価は、全体でも昨年度と比べて10ポイント程度の増加になりました。他にも研修時間・時期について、また自由記述でもたくさんの貴重な意見をいただきました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校園のニーズを踏まえ、次年度の研修を準備していきます。

■ 講座別結果(「内容はどうか?」に対する回答)



◆ 教育相談 ◆

1. 出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）

平成25年度は市内全35小学校に対し、教育相談員またはスクールカウンセラーを相談実績に応じて年間派遣回数を設定し、出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラーが全18中学校に対して年間35回の教育相談を行いました。相談内容は保護者、児童生徒に対するカウンセリングや教職員との相談、校内会議についての助言等です。2月末現在では小学校・出張教育相談が約2600回、中学校・スクールカウンセラーでは約4500回の相談があり、特に不登校、問題行動、発達障がいに関する相談を多く取扱いました。

2. 来所相談・電話相談

教育センターにおける来所相談と電話相談では2月末現在で合わせて約3600回の相談がありました。主訴としては出張相談・SCと同様、不登校、問題行動、発達障がいに関する相談が多く、今年はいじめに関する電話相談が例年より若干多くみられました。

3. 来年度に向けて

平成26年度も今年度ひきつづき、木曜日の夜間来所相談を実施します。また、出張教育相談においてはニーズ・実績に合わせて派遣形態や回数を設定します。また、教育相談を活用していただくために平成25年度4月に発行した「教育相談ハンドブック」を学校園でご活用ください。

◆ 不登校児童生徒支援事業 ◆

1. 適応指導教室の本年度の状況

平成25年度は、前年度と同様に「光の森」「学びの森」「家庭訪問活動」とそれぞれの適応指導教室の活動を実施しました。今年度の在室人数は「光の森」が27名（中学3年生9名、2年生14名、1年生4名、小学生0名）、「学びの森」は、21名（中学3年生8名、2年生8名、1年生3名、小学生2名）、「家庭訪問活動」は、3名（中学3年生1名）です。
〔いずれも2月末現在。体験中児童・生徒含む〕

本年度は学校訪問や連絡会を通して、細かな不登校支援を目指し、適応指導教室の目的や入室までの流れについてご理解・ご協力をいただいた結果、各学校との連携をスムーズに進めることができました。適応指導教室でのステップアップ研修も実施しました。昨年に比べ適応指導教室につなげる事ができた子どもの数が増えました。

2. 次年度へ向けて

適応指導教室に通うことで、教室への登校や別室でテストが受けられるようになったり、他者との活動が行えるようになるなど、様々な成長が子どもたちに見られました。長期欠席児童・生徒に対しては、適応指導教室だけでなく、「家庭訪問」活動も含めて、様々な学校支援を行っていきます。また他の機関との情報共有や連携を図り、市全体としての不登校児童・生徒支援を進めていきます。

《お詫びと訂正》

センターだより第9号の「研究委嘱校の取組紹介②」のコーナーにおきまして、上段の佐井寺小学校のタイトルに誤りがありましたのでお詫びと共に、以下に訂正いたします。

誤) <自信を持って自分の考えを表現する力を育てる>

正) <自ら考え行動する子を育てるための授業づくり>